

かわいい新1年生

2月19日(月)に、新1年生の体験入学がありました。私たち5年生が学校案内を担当しました。私が担当した子は「しおん君」でした。

学校案内の時、つないだしおん君の手はとても小さく、ふわふわしていました。校長室に入ると、新1年生たちは、笑顔でソファに座っていました。緊張がとけたのか、そこからルンルン気分で校内を歩いていたので、かわいかったです。

5年生教室でインタビューをしたときは、緊張してカチコチ状態になっていたけれど、それもまたかわいかったです。得意なことや好きなことを教えてくれました。

4月に新1年生が南郷小学校に入学してくるのが今から楽しみです。



校長室の案内



体育館の案内

(南郷小学校 5年 岩本 こころ)

学習発表会

2月23日(金)に、学習発表会があり、各学年が、くふうをこらして発表しました。1番は、2・3年生でした。黒砂糖についての発表で、黒潮町ではすごく前から黒砂糖がつくられていたそうです。1年生は「歯が抜けたらどうするの」の発表です。国のちがいを1年生がおもしろく発表してくれました。

ぼくたち5年生は、「みんながくらしやすい黒潮町に」という題で、お年寄りや障害のある人たちのことや人権学習、防災学習のことを発表しました。クラスみんなが町長さんや人権教育係の人になり「こんな町にしたい」と発表しました。緊張していたけど、大きな声でゆつくりと言いました。

4年生は、ラッキョウづくりと消防署見学のことでした。ラッキョウができるまでの仕事分かりました。最後は6年生の英語劇「桃太郎」でした。ぼくも英語を覚えたと思います。全ての学年がよい発表でおもしろかったです。みんなが楽しめました。



「こんな黒潮町にしたい」と発表

(田ノ口小学校 5年 福留 吏一・山下 夏輝)

感謝

高校時代を振り返ると、良い思い出が残っていないように感じる。この学校のおかげで、他では経験できないことをたくさん経験できた。

まず1つは、スケボウのイベントを開催したことだ。ポスター作りや協賛金集め、土地の使用許可まで全て自分たちでやった。自分の行動力を生かし、成功させることで成長を実感できた。

2つ目は「ハイスクール世界サミット in 福島」への参加だ。こんなにも思い出に残るものになるとは考えもしなかったが、今も東北へもう一度行きたいと思っている。避難所の開設、グループディスカッション、どれも大変だったけど、福島での経験が今の自分のモチベーションになっている。出会った仲間になんか負けていないと思う。

「こんな濃い高校生活、送った奴いるのかな」って思うぐらい、楽しくて最高で面白くて…。3年間で変わった。新しいことにチャレンジするのが楽しくて、他の誰よりも貴重な経験をし、多くを学んだ。僕は大方高校での生活に感謝している。



卒業証書授与式

(大方高校 3年 安倍 康平)